

～あなたのまわりに気になる高齢者はいませんか～

市では、高齢者の総合相談窓口として、市内に7カ所の地域包括支援センターを設置しています。

高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けるために、地域全体で高齢者を見守りましょう。「あれっ？」「どうしたのかな？」という小さな気づきや困ったことがあれば、早めに地域包括支援センターに相談しましょう。

●例えば、こんなことはありませんか

高齢者の皆さん



- 子どもに怒鳴られたり、たたかれました。でも、自分の子どもだし、普段はよくしてくれる…。
- 家族に通帳を預けたけど、勝手に使われてしまって老後のお金が心配…。
- 最近、物覚えが悪くなって…。家族からも注意されるけど、どうしたらいいかわからない。



介護や福祉などに関することはもちろん、どこへ相談したらよいか分からない心配ごとがあれば…

高齢者の家族

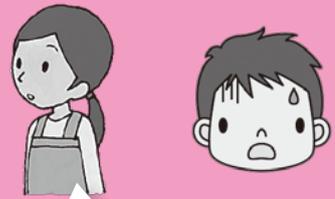


- うちのおじいちゃん、今は元気だけど介護が必要になった時は、どこに相談すればいいのかな。
- おばあちゃんの介護が大変でイライラ。つい手が出てしまう…。
- 夜も眠れず、介護疲れが取れない。
- 正直、家族だけで介護するのはしんどいけど、やっぱり家族が世話をすべき…。



介護はひとりで、家族で抱えこまないで、しんどいときや困ったときは…

地域の皆さん



- 最近、近所のおばあちゃんに会えない。元気にしてるかな。
- 家や庭がごみであふれている…。
- 隣のおじいちゃん、この間も徘徊していたし、家族の人も介護疲れが溜まっていそう。
- 怒鳴り声や大きな音が聞こえる。
- 様子が変わって気になるけど、余計なお世話かもしれないし…。



近所に住んでいる高齢者について、なんとなくいつも様子が違ったり、気がかりなことがあれば…

地域包括支援センターへご相談ください

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんを介護、福祉、健康など、さまざまな面から総合的に支援する公的機関で、必要な情報やサービス・関係機関を紹介したり、その支援をしています。高齢者だけでなくその家族や近隣の人からの高齢者に関する相談も受け付けています。お住まいの最寄りのセンターにご相談ください。

相談窓口

- 尾道市地域包括支援センター (☎0848-20-7371)
- 尾道市北部地域包括支援センター (☎0848-76-2495)
- 尾道市西部地域包括支援センター (☎0848-21-1262)
- 尾道市東部地域包括支援センター (☎0848-56-0345)
- 尾道市向島地域包括支援センター (☎0848-41-9240)
- 尾道市南部地域包括支援センター (☎0845-24-1248)
- 尾道市南部地域包括支援センター瀬戸田支所 (☎0845-27-3847)



地域包括支援センターがあなたと一緒に考えます。相談内容は守られます。

相談は電話でも大丈夫。必要に応じ、自宅にも伺います。

お金の管理に不安のある人に成年後見制度の説明をしたり、消費者被害に関する相談支援も行っています。

11月11日(いい日、いい日)は「介護の日」です



平成20年、介護についての理解と認識を深め、介護を受ける人・家族・介護職員を地域社会で支援し、支え合いや交流を進めるために、11月11日が「介護の日」と定められました。現在では、「『介護の日』フォーラム」に加えて、700カ所を超える地域で多彩なイベントが開かれ、多くの人が介護について知る機会となっています。

介護人材育成の取り組み

尾道福祉専門学校は、地域社会に親しまれ支えられ、地域に貢献できる介護人材の育成を目指し、1.教育内容の充実 2.介護現場に貢献できる人材の育成 3.最新の福祉の動向の把握及び理解 4.地域貢献、の4つを基本方針として運営しています。

国家資格である「介護福祉士」や、暮らしや人生の質を高める「福祉レクリエーション・ワーカー」の資格を取得した多くの卒業生が本市で働いており、地域に溶け込んだ介護を実施しています。

また、学校の周りには高齢者の独り暮らしや夫婦世帯が多いため、学生がボランティアで資源回収のお手伝いをするなど、地域の人々と共にまちづくりを進め、地域福祉・介護の研修の場としての役割も担っています。



尾道福祉専門学校からのメッセージ

日本は世界一の長寿国となっています。私たちが経験する人生80年時代。先端に躍り出た日本の高齢者が、どう生きてどう支えられるかが、私たちの未来を決める…。そして、そこに果敢にアタックし始めたのが、日本の介護だと思っています。

障害をもって高齢になっても、私たちは自分らしく暮らしたいと願っています。地域の皆さんとともに、尾道のこれからの介護を考え、担い手を育てていきたいと思っています。



介護予防にも役立つレクリエーション!

誰もが楽しめて、笑顔・元気を引き出してくれるレクリエーションは、介護予防にも役立つといわれています。

本校では、昔遊び(テンカボール)をヒントに、日本レクリエーション協会と吉本興業株式会社で開発された全身運動で、世代を超えて楽しめる「スポーツテンカ」の普及に取り組んでいます。

☎尾道福祉専門学校(☎0848-37-2222)



平成27年3月末まで介護従事者の養成・就労支援を行っています

ホームヘルパーまたは介護福祉士の養成課程を修了または卒業し、平成24年4月1日以降、市内の介護保険事業所(居宅介護支援事業所を除く)に就労した人(1週間の所定労働時間が20時間以上)に対して、次のとおり助成金を交付します。

■ホームヘルパー

対象と助成額 2級以上の資格を有し、市内の介護保険事業所に就労して、6カ月以上経過した人[助成額: 1人2万円]

■介護福祉士

対象と助成額

◎尾道福祉専門学校を卒業し、市内の介護保険事業所に就労した人 [助成額: 1人10万円]

◎他校を卒業し、市内の介護保険事業所に就労した人 [助成額: 1人5万円]

【共通事項】

申請方法 申請書に①就労証明書(所定の様式)②ホームヘルパーは受講修了証の写し・介護福祉士は介護福祉士登録証の写し③介護福祉士資格取得のため通学した学校の卒業証書の写しまたは介護福祉士国家試験合格証書の写しを添付し申請

※助成は1回のみ(両方の資格を有する場合も同じ)。

※詳しくはお問い合わせください。

☎高年齢者福祉課(☎0848-38-9137)





カメラさんぽ



優しい灯りに包まれて “癒しのまち尾道”

10月11日、市内28カ所で約3万個のぼんぼりで彩る第11回尾道灯りまつりが行われました。このぼんぼりには市内の子どもたちが将来の夢や願いを描いています。訪れた人は幻想的な光のアートを楽しんでいました。



ゆっくり歩いて島を渡ろう

10月3日・4日、第14回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチが開催され、尾道市から今治市までを歩いて目指しました。最終日の5日は台風の影響で中止になってしまいましたが、2日間で約4,000人の参加がありました。



元気にヨーイドン！

10月12日、びんご運動公園で第52回尾道市子ども会大運動会がありました。子どもたちが一生懸命競技する姿に、会場からは熱い声援が送られ、会場が一体となり、盛り上がりました。



尾道の古寺をめぐりながら お茶を楽しみました

10月12日・19日に市内の古寺などで「しまのわ茶会・尾道お茶めぐり」が開かれました。貴重な古建築でいただくお茶はまた格別でしたよ。

サイクリングで 女子会?!

～恋^{コイ}で走って島めぐり～

10月25日、おかいしま女性サイクリング大会が、向島で行われました。参加者は女性限定ということで、終始和やかな雰囲気でした。また、休憩ポイントでのよもそろガールズ向島の皆さんによるおもてなしも好評でした。



約7,300人が参加！ 日本最大級の 国際サイクリング大会 ～サイクリングしまなみ～

10月26日、今治市～尾道市の高速道路の大部分を通行止にし、普段は自動車ではか走ることができない道路を自転車だけで駆け抜けるイベントが行われました。参加者の皆さんには、地元の特産品のおもてなしや瀬戸内の島々の絶景など、しまなみを満喫していただけたと思います。

サイクリングしまなみ実行委員会提供

■ 料金表示のないものは参加無料です。

☎ 電話

FAX ファクス

✉ 電子メール

HP ホームページ

☎ 申込先

📞 問い合わせ先